

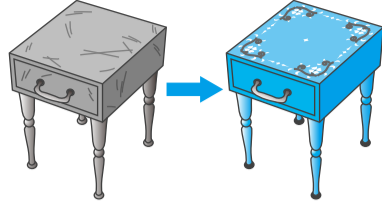
# 家のお手入れ



## 家具のリフォーム

### ペイントする

気に入った粘着シートがない場合、またテーブルやイスの脚などに粘着シートが貼れない部分は塗装しましょう。ペンキには油性と水性があり、家具にはどちらも使えますが、家庭で使うには乾燥時間が短く、後始末も簡単な水性が使いやすいでしょう。塗料や道具の選び方、扱い方については、『No.35 塗装の基礎知識』を参照してください。

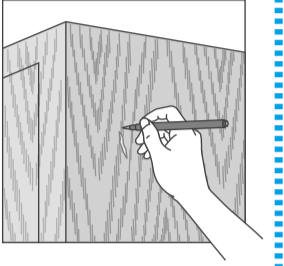


- 取っ手などを取り外してから、塗料のくいつきをよくするためサンドペーパー(240番くらい)を全体にかける。
- 取り外せなかった取っ手や鍵穴、引き出しの内側との境部分など、塗料がつかない部分にマスキングテープを貼って保護する。また、床には塗料が落ちてしまうように新聞紙やビニールシートを敷いてから作業を始めること。また、室内で作業する場合は換気にも注意。
- 広い面はコテバケ、狭い面や端の部分はスジカキバケとハケを使い分けるときれいに塗れる。缶に1回塗りと表示されている塗料は塗った塗料が乾かないうちにもう一度塗るのがきれいに仕上げるコツ。
- 色の発色をよくするには、白の塗料での下塗りが大事。特に、パステルカラーなど、淡い色に仕上げたい場合は必ず、下塗りを。また、白や淡い色を塗ったあと、ハケの先だけにペンキをつけ、わざとムラになるように塗るテクニックを使えば、アンティーク風な家具に仕上げることができる。ペイントした上からステンシルやトールペイントを施すのも手。

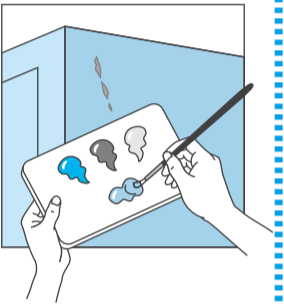
### One Point Advice

#### 家具の修理

●木目の家具のキズ  
フローリングのキズ隠しなどに使う筆ペン式着色補修剤が便利。家具の色よりやや薄めの色を選んで、目立たない場所で試し塗りをしてからキズを塗るようにしてください。木目部分が切れている場合は、少し濃い色で木目の線を描けばより目立たなくなります。



●木目以外の色の家具のキズ  
水性絵の具を家具の色と同じに調色して塗ればOK。ポイントは混ぜる際に水を加えないこと。筆も水分を拭き取ってから使用しましょう。絵の具が乾いたら無色透明のマニキュアかマニキュアのトップコートなどを絵の具を塗った部分より一まわり広めに塗ってガードします。

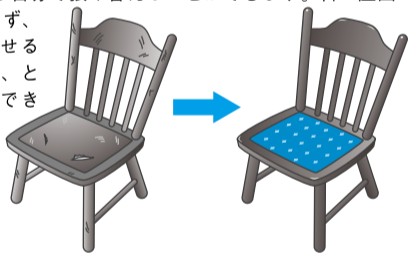


### 家具のリフォーム

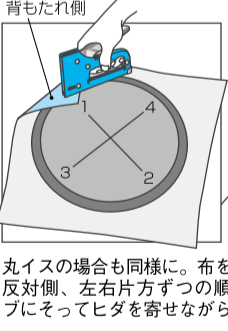
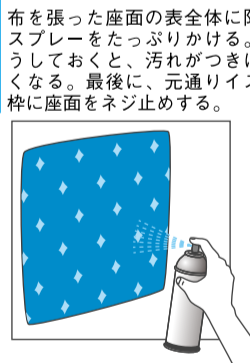
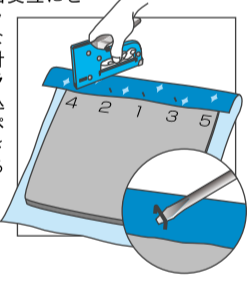
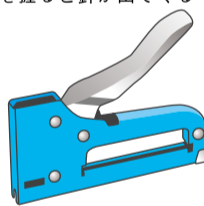
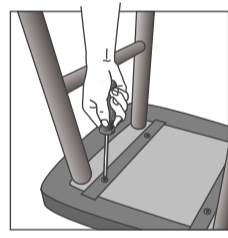
古くなったり、部屋に合わなくなった家具。買い替えを考える前に、自分で修理、リフォームに挑戦してみませんか。ちょっとの工夫と手間、インテリアにピッタリなオリジナル家具に生まれ変わります。

#### イスの座面を張り替える

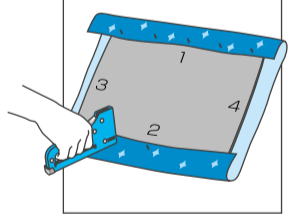
座面だけが布張り、枠と座面がネジ止めされているタイプのイスなら自分で張り替えることができます。古い座面の布をはずさず、上からかぶせる方法なので、とても簡単にできます。



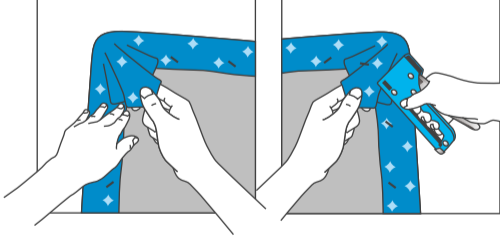
- 枠と座面を固定しているネジをはずして、座面をはずし、新しい布を座面よりひとまわり大きく裁断する。
- 布を座面に止めるには、ミニタッカー(ホビーホットキス)という、針を打って布や紙を木などにとめる道具を使う。しっかり押さえ付けてレバーを握ると針が出てくるようになる。初心者はカマボコ板などに試し打ちをして感覚をつかんでから使用するとよい。
- 四角いイスの場合は、まず前側になる部分の辺からとめていく。辺の真ん中をとめ、そこから四隅の手前まで左右交互にとめていく。タッカーを打ち損なった場合は、針にマイナスドライバーを差し込んで起こし、ペンチなどで引き抜いてから打ち直せばよい。
- 丸イスの場合も同様に。布を止める場合は、背もたれ側、反対側、左右片方ずつの順で1カ所とめてから、カーブにそってヒダを寄せながら順にとめていくようにする。



- 前面をとめたら、次に後面、そして左右の順でとめていく。このとき、ネジ穴にタッカーを打ちこまないように注意。

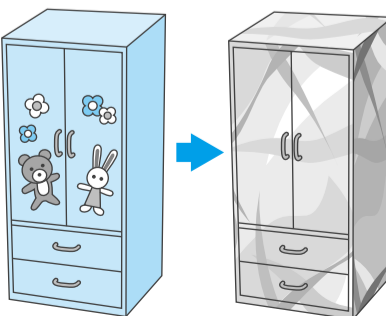


- 4辺をとめたら背もたれ側の角の始末を。角の頂点を折り返して、左右に均等にヒダを寄せながら折り返してタッカーで固定する。このとき、角のカーブの曲線に合わせて、表面の布が曲がらないように注意。うまくいったら、前面側も同じようにしてとめる。



#### 粘着シートを貼る

裏紙をはがすだけで簡単に貼れる粘着シートを使えばタンスや本箱など平面が多い家具のリフォームが簡単にできます。貼るものの材質を選ばないので、木製やスチール製の家具にもOK。粘着壁紙やカッティングシートなど、種類も豊富で、色、柄も自由に選べます。



- 取っ手など、ネジ止めされていて取り外せるものはできるだけはずす。組立式家具の場合、分解してもう一度組み立て直せるものならばして作業したほうが楽。
- シートを貼りにくい枠や引き出しの厚み部分は、シートに合わせた色でペイントする。この部分は、枠の幅とピッタリなサイズの粘着テープや、サイズに合わせてカットした粘着シートを仕上げる段階で貼る方法もある。
- 各部分の幅、高さを測り、それより若干大きめに粘着シートを裁断する。
- 引き出しの面など小さな箇所は裏紙をはがしてから、曲がらないように気をつけて貼りつける。そのあと、カッティングシート用ゴムゴテで空気を追い出す。
- 広い面は、裏紙を少しはがしてから端に真っすぐに貼り付け、裏紙を少しずつはがしながら、ゴムゴテで空気を追い出すようにして貼っていく。
- 空気が入ってしまった場合は、針で穴をあけて空気を追い出せばきれいになる。
- シートの余分を、カッターで切り取る。このとき、ほんの少し内側を切るようにカッターの刃を少し斜めに当て、スッと一気に切るのがポイント。切り口がギザギザになったり、家具からはみ出ているとひっかかって破れやすくなるので注意。
- 取っ手がついていた部分のシートにキリなどで穴をあけ、取っ手を差し込んで、元通りにネジ止めする。このとき、つけ根の幅が合うものを選び、取っ手を新しいものに交換することも可能。つけ根の幅が自由に変えられるタイプのハンドルも市販されていて、これならほとんどの引き出しに取り付けることができる。

